

《本年度の目標達成状況》	《評価》	《感想や意見》
<p>《基礎学力》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の目標を「朝学習や自主学習の充実を図り、基礎基本を大切にしながら学力向上に努める」と設定し、児童の主体的に学ぶ態度の育成に努めた。朝学習に自己選択できる学習形態を継続して取り入れ、苦手な内容やもっと深めたいことへの追及意欲を向上させること。さらに読書活動の推進によって、進んで本を読む児童を育てることを目標にした。</li> <li>・「苦手な内容やもっと深めたいことを自主学習や朝学習で取り組んだ」という児童のアンケート結果は72%、進んで読書をしている児童のアンケート結果は83%であった。また保護者アンケート「子どもは家庭で進んで読書をしている」は48%と前期に比べて減少しており、依然として低い値となった。以上から評価はBとした。</li> </ul>	<p>《基礎学力》</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習のスタンプラリーの取り組みを通して、教員間での児童のノートの共有をすることができた。互いのノートの掲示や称揚を励みに児童は自分も頑張りたいという気持ちになっている。取り組みませ方の工夫は自主学習の内容をレベルアップさせるためにもこれからも継続して行う必要がある。タブレット端末内のドリルの問題を有効活用する方法についても考えていく。</li> <li>・わくわくサポート学習は、個別の丸つけとアドバイスがすぐに受け取れることが励みになり、基礎学力の定着につながっている。「主体的に取り組む」児童を目指し、学習への意欲が高まる工夫をしていきたい。</li> <li>・読書については、幅広い分野から本選びをしてほしい。まずは、読書冊数や図書館利用回数を増やしてほしい。そのためにも読書の楽しさを広げていく読書活動を充実させていくとよい。</li> </ul>
<p>《健康・体力》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の見直しや給食指導を通して、健康に対する意識の向上に努めるようにした。アンケートでは92%の児童が給食はがんばって食べるようにしていると回答している。しかし実情として残菜量が減っていないことは気になる。給食センター栄養員の方とも連携し、定期的に児童の様子観察や食育指導も行っていただいている。神在小学校独自で呼びかけている「べろりんデー」を継続的に実施し、心と体の健康のもとになる食育を進めていきたい。</li> <li>・メディアコントロールのルール作りができた家庭は57%となり、中間期に比べて低下した。引き続き、学級懇談会や学校保健委員会の場を生かして、家庭への啓発を根気強く続けていきたい。以上から評価はBとした。</li> </ul>	<p>《健康・体力》</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いがあるのは仕方がないが、しっかり食べることは生活リズムの基本であるので食育を推進して健やかな子どもたちの成長を今後も願う。児童の励みになっている保健委員会の取組や給食センターとの連携は今後も続けてほしい。</li> <li>・就寝時刻が守られ、生活習慣が整っていることは健康体力両面の増進につながるため、今後も家庭と協力して取り組んでほしい。</li> <li>・メディア利用時間が増えている現状から、家庭でのルール作りの徹底や学校施設のLED化など児童の健康のために学校と家庭と地域の様々な方向から協力し、取り組んでいけるとよい。</li> </ul>
<p>《人権感覚の育成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月のいじめを考える週間や12月の人権週間に合わせて、友達との関わり方や思いやりのある言葉遣いについて、学級や児童一人ひとりの振り返りを充実させる取組を行った。人権週間の取組を通してリモート人権集会を開き、学年の取組を紹介し合っ、友達も自分も大切に人権意識を高めることができた。</li> <li>・今年度から全学級SEL(Social Emotional Learning)学習(子ども達の対人能力や共感性、自己理解や感情制御力を育てるための学習や体験プログラム)に取り組み、自尊感情と好ましい対人関係能力を育てている。「困ったときに自分の気持ちを受け止め、言葉で伝えようと努力している」と回答した児童は83%、「友達の気持ちを理解し、友達の立場に立って行動することができる」と回答した児童は88%であった。相手を思いやる気持ちは育ってきているので、人権感覚を養う取組をさらに継続させていきたい。以上から評価はBとした。</li> </ul>	<p>《人権感覚の育成》</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級には友達を大切に、思いやりのある言葉を綴った掲示物や児童の作品が飾られていた。人権週間に学校全体で共有し、ていねいに取り組んでいるのがわかる。保護者の感想として、神在小学校の子どもは言葉が優しいと感じられるようになった。さらに、自信を持って「子供たちは優しい」と言えるように学校も家庭も地域もなりたいと思っている。</li> <li>・全学級でSEL学習に取り組み、自尊感情と好ましい対人関係能力を育てている。自分への気づきと他人への思いやりを学級目標にしているクラスも多い。物事に共感できる子供たちの様子は学習中の「振り返り活動」の中でも確認できる。先生方が共通して指導してくださっているのありがたい。全職員でという意識は今後もぜひ続けてほしい。</li> </ul>
<p>《家庭・地域の連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度もたくさんの地域の方々に学校支援として参加していただくことができた。学校運営協議会設立に関しては、「知っている」と回答したのは保護者が56%、地域が77%であり、中間期よりも数値はかなり上がった。</li> <li>・学校運営協議会に対しての周知は進んでいるといえる。今後もホームページや行事などのあらゆる機会を通して発信を続けていく必要がある。拡大熟議を行うことができたのは効果的だったので、今後は参加のあり方を工夫していきたい。以上から評価はBとした。</li> </ul>	<p>《家庭・地域の連携》</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目も達成基準を満たしており、児童とボランティアの方々の双方に満足感が得られている。地域住民が様々な立場から学校支援を行っていることは実に好ましい。今後も地域の方との体験活動を充実させていきたい。</li> <li>・学校運営協議会についてしっかりと情報発信を行い、今後につなげてほしい。近年の課題であるボランティアの高齢化に伴う世代交代が望まれている。次世代へ引き継ぐ新しい力がこれからいっそう必要になり、地域の人材育成も行っていく必要がある。</li> </ul>